

1. 全体評価

(1) 全体指標の達成状況

目標	メニュー	全体指標	現状値			目標値			目標年度の報告			備考
			数値	単位	年度	数値	単位	年度	実績	達成率 (%)	年度	
森林整備の推進												
森林の多様な利用・緑化の推進												
優良種苗の確保												
望ましい林業構造の確立												
特用林産の振興												
木材利用及び木材産業体制の整備推進												
山地防災情報の周知												
森林資源の保護												
林業担い手等の育成確保	担い手確保・育成対策	認定事業者数	20	事業者	H28	21	事業者	H29	21	100%	H30	
		新規就業者数	37	人/年	H28	40	人/年	H29	28	70%	H30	
市町村広域連携支援												

(注)

- 1 全体指標、現状値、目標値、単位については、事業計画の内容とすること。
- 2 達成率は、目標年度の実績／目標値とすること。
- 3 実績については、その調査方法と調査年月日を備考欄に記載すること。(別様可)
- 4 報告年度については、本要領第7の1に基づくこと。
- 5 行については、適宜加除すること。

(2)総合評価

計画主体の評価及び今後の課題とその解決策

目標	本事業により実施した目標の分析とその評価	今後の課題とその解決策
森林整備の推進		
森林の多様な利用・緑化の推進		
優良種苗の確保		
望ましい林業構造の確立		
特用林産の振興		
木材利用及び木材産業体制の整備推進		
山地防災情報の周知		
森林資源の保護		
林業担い手等の育成確保	愛知県林業労働確保支援センター等と連携し、雇用相談や各種研修を実施し、新規林業就業者を確保・育成を図った。 認定事業体数は目標を達成したが、新規就業者については目標の70%の達成となり、2年ぶりに低調となった。 全国的な労働者不足に加えて、条件の良い他業種の求人が多いことが影響していると考えられる。	課題として、新規就業者を増やし、定着を図ることが挙げられる。 愛知県林業労働力確保支援センターと引き続き連携し、労働条件の改善や技術向上等の採用側の環境改善に取り組むほか、就業相談会や林業関係高校生向けの見学会等を開催し、就業者側へのPRと林業への理解を深める取り組みを継続して行う。
市町村広域連携支援		

(注)

- 1 目標ごとに事業評価を分析したうえでその評価について記述するとともに、事業実施上明らかとなった今後の課題とその解決策を記述すること。
- 2 報告年度については、本要領第7の1に基づくこと。
- 3 本表には、目標ごとに評価等を記入すること。
- 4 行については、適宜加除すること。

2. 個別事業評価
森林整備・林業等振興整備交付金

(1) 施設の利用状況

目標	メニュー	事業種目	事業実施主体	施設等区分	設置年度	個別指標 (目標値)	達成状況					備考
							1年目 (平成27年度)	2年目 (平成28年度)	3年目 (平成29年度)	4年目 (平成30年度)	目標年度 (平成31年度)	
森林整備 の推進	高性能林 業機械等 の整備	林業機械 作業シス テム整備	豊田森林組合	【森林整備型】 ログローダ 1台	平成26年度	間伐材利用量(m3) 17,000→20,500	21,641 105.6%	18,819 91.8%	22,860 111.5%			

(注)

- 1 「個別指標」の欄には、個別指標のほか目標値を記入すること。
- 2 「達成状況」の欄には、上段に目標値に対する各年度の実績を、下段に達成率(実績/各年度ごとの目標値)を記入すること。なお、製品出荷量実績におけるJASの各付率または入荷量に占めるJAS製品の割合の報告を要する場合は、達成率の下に括弧書きで記入すること。各年度ごとに目標値を設定している場合は、最上段にそれぞれ記入すること。
- 3 報告年度については、本要領第7の2若しくは第9の3に基づくこと。
- 4 利用料等を徴収する施設を整備した場合は、施設全体の実績のほか、利用料金等を徴収する施設ごとの実績についても記入すること。
- 5 木造公共建築物の整備により整備する施設においては、原則として施設利用者に対してアンケートを行うこと等により施設の波及効果を調査することとし、その集計結果を達成状況報告の提出の際に添付すること。
なお、アンケートの内容には、以下の(1)~(3)を含めること。
 - (1) 当施設の利用で木材利用の意義や木の良さについて理解が深まりましたか(深まった、深まらない(その理由)、わからない)。
 - (2) 国、地方公共団体はこのような木造公共施設の建設を促進すべきですか(そう思う、そう思わない(その理由)、わからない)。
 - (3) ご自分が住宅を建てる場合、地域材を使用したいと思いますか(この施設を見てそう思うようになった、以前からそう思っていた、そう思わない(その理由)、わからない)。
- 6 木質バイオマス利用促進整備のうち、事業計画書の備考欄に「未利用材を利用」と記載したものについては、「達成状況」欄に木質バイオマス利用量の実績の上段へ、その内数として未利用材利用量を()書きにより記載すること。

(2) 収支実績

(愛知県)

メニュー	事業種目	事業実施主体	施設等区分	設置年度	項目	目標値	報告年度					備考
							運用開始年度	1年目 (平成27年度)	2年目 (平成28年度)	3年目 (平成29年度)	4年目 (平成30年度)	
高性能林業機械等の整備	林業機械作業システム整備	豊田森林組合	【森林整備型】 クローラ1台	平成26年度	収入	77,525,753円	0	51,221,753	18,552,006	58,697,556		
					支出	32,893,345円	0	3,019,807	2,912,260	3,627,236		
					収支差	44,632,408円	0	48,201,946	15,639,746	55,070,320		
					収入のうち 公的資金等	0	0	0	0	0		
以下余白					収入							
					支出							
					収支差							
					収入のうち 公的資金等							

(注)

1 「収支実績」については、以下の施設について記載すること。

ア 収支を伴う施設

- | | | | |
|--------------|----------------|--------------------|-----------------------|
| (1)木材製材施設 | (6)木材加工施設 | (11)木材集出荷販売施設 | (16)品質向上・物流拠点施設 |
| (2)集成材加工施設 | (7)木材材質高度化施設 | (12)森林バイオマス再利用促進施設 | (17)チップ加工施設 |
| (3)プレカット加工施設 | (8)特用林産物生産施設 | (13)木質エネルギー等利用促進施設 | (18)新しい木材活用のための加工供給施設 |
| (4)丸棒加工施設 | (9)特用林産物加工流通施設 | (14)木質バイオマス供給施設 | (19)直交集成板加工施設 |
| (5)杭加工施設 | (10)廃床等活用施設 | (15)合・単板加工施設 | (20)コンテナ苗生産基盤施設等 |

なお、利用料金等を徴収する施設を整備した場合は、施設全体の実績のほか、利用料金等を徴収する施設ごとの実績についても記入すること。

イ 林業機械作業システム整備により導入した林業機械(以下、「林業機械」という。)

- 2 「施設等区分」については、上記1のアに該当する場合は(1)～(15)を、1のイに該当する場合は【森林整備型】、【素材生産型】の別を記載し、機種についても記載すること。
- 3 項目の「収入のうち公的資金等」欄には、収入のうち市町村の一般財源や森林組合の他事業からの流用等施設の運営による収入以外の収入を記入すること。(収入の内数)
- 4 「目標値」の欄には、事業計画書の作成段階における収支計画を記入すること。なお、林業機械については、導入した林業機械による素材生産事業等に係る収支計画を記入すること。
- 5 「報告年度」は、本要領第7の2に基づくこととし、実績を各年度ごとに記入すること。
- 6 「目標年度」の欄には、目標年度の収支を記入すること。
- 7 「収入」は、販売額又は利用料等とすること。
- 8 「支出」は、固定経費及び変動経費の合計とし、減価償却費等支出に計上すべきものを正確に積み上げること。